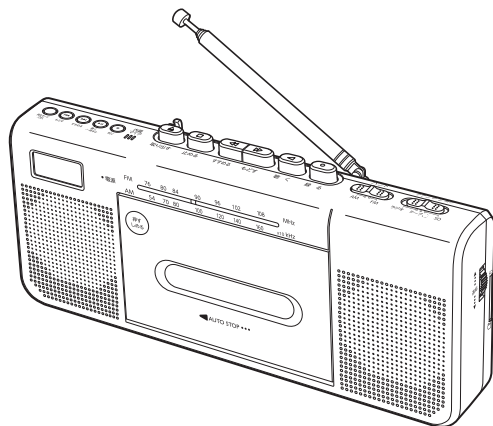


取扱説明書 (保証書付)

このたびはコイズミ ステレオラジカセをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられたあとも、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
テープについて	4
SDカードについて	4
各部のなまえ	5~6
電源について	7
家庭用電源で使うには	7
乾電池で使うには	7
ラジオを聴く	8
設置場所について	8
テープを聴く	9
オートストップ機能について	9
SDカードのファイルを聴く	10~12
再生できるファイルについて	10
再生の準備をする	10
再生の順序について	10
再生する	11
ディスプレイの表示について	12
リピート演奏/ランダム演奏	12
市販のマイクを接続する	13
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	13

テープに録音する	14~16
オートストップ機能について	14
マイクまたは内蔵マイクから録音する	14
ラジオから録音する	15
SDカードから録音する	16
SDカードに録音する	17~20
録音データについて	17
マイクまたは内蔵マイクから録音する	18
テープから録音する	19
本機で録音した曲 (MP3ファイル) を削除する	20
本機で録音/削除したファイルの再生の順序について	21
お手入れのしかた	22
本体のお手入れ	22
カセットデッキのお手入れ	22
仕様	22
故障かな?と思われるときは	23~24
アフターサービスについて	25
お客様の個人情報のお取り扱いについて	25
保証・無料修理規定	26
保証書	27
お客様相談窓口	27

安全上のご注意

*ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

カセットホルダー、SDカードスロットなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して火災・感電の原因となります。

ACアダプターのコードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにする
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気が付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



ACアダプターのプラグは清潔にする 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る
ショート・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直接日光の当たる高温の場所(自動車内など)には置かないでください。



ACアダプターのコードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

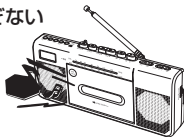
乾電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する

万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてから行う。

火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときや家庭用電源で使用するとき、乾電池を取り出しておく

乾電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



持ち運びするときは、アンテナをたたむ

伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っかかったり当たるなどして、ケガの原因となることがあります。



幼児がカセットホルダーに、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

ご使用になる前に

ご注意

- 次のような場所では使用・保管しないでください。
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば
 - ちりやほこりなどの多い場所
 - 風呂場など湿気の多い場所
 - テレビやチューナーなどのそば
- 雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

テープについて

90分を超えるテープの使用はおやめください。
他のテープに比べ非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれやすくなります。

テープの種類

- 録音にはノーマルポジションテープをお使い下さい。
ハイポジション、メタルポジションテープでは、録音済みテープに録音すると、前に録音した内容が消去されず重なって録音されますので、再生しても正常に聴き取れません。また未使用のテープに録音しても十分に性能を発揮できません。
- エンドレステープは使用できません。



ノーマルテープ
(TYPE I)



ハイポジション
テープ (TYPE II)



メタルテープ
(TYPE IV)

テープの取り扱い

※使用前にテープのたるみを取り除いてください。テープが機械に巻き込まれることがあります。

ご注意

- カセットテープ自体の回転が重たい場合にはデッキのピンチローラーにテープが絡む場合がありますので、次のような時にはご注意ください。
- カセットテープケースに歪みや変形がある場合
 - 長年の使用でテープが劣化し、テープに波打ち伸びがある場合
 - 寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだためテープ全体に結露した場合
 - テープがひどく汚れた場合など

SDカードについて

- 本機で使用可能なSDカードのファイルシステムは、FAT16、FAT32、exFATです。
他の形式でフォーマットされたSDカードは使用できません。
- SD規格に準拠したSDカード、SDHC規格に準拠したSDHCカード、SDXC規格に準拠したSDXCカードをご使用ください。
- 64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカード、64GB～2TBのSDXCカードが使用できます。
マルチメディアカード(MMC)は使用できません。
- miniSD/miniSDHCカード、microSD/microSDHC/microSDXCカードは専用アダプターが必要です。
- SD/SDHC/SDXC、miniSD/miniSDHC、microSD/microSDHC/microSDXCはSDアソシエーションの登録商標です。

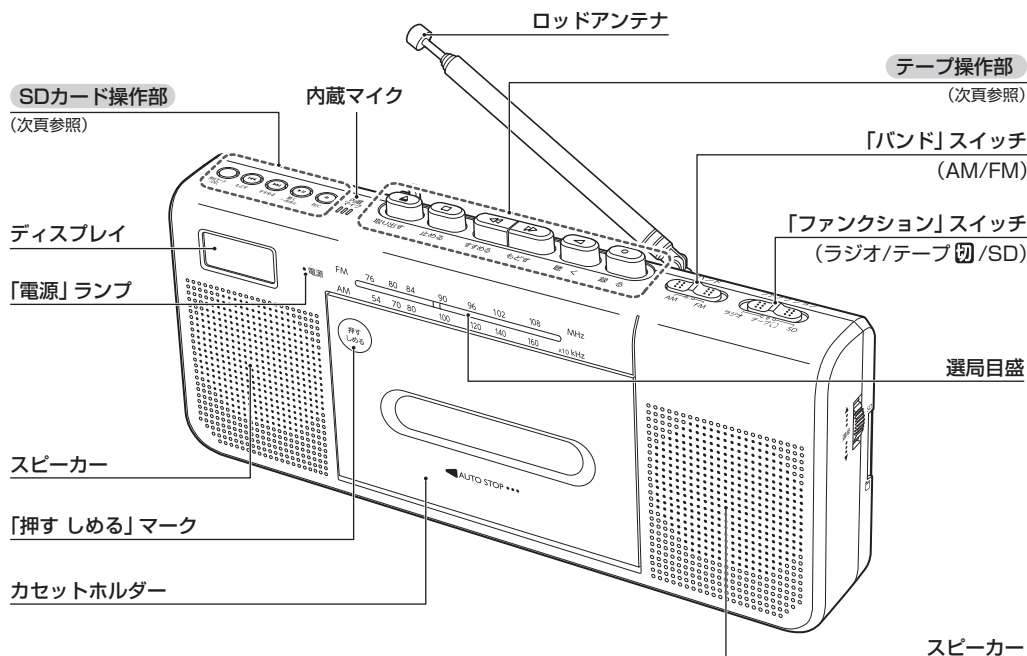
ご注意

SDカード裏面の金属端子部に手や金属で触れないでください。

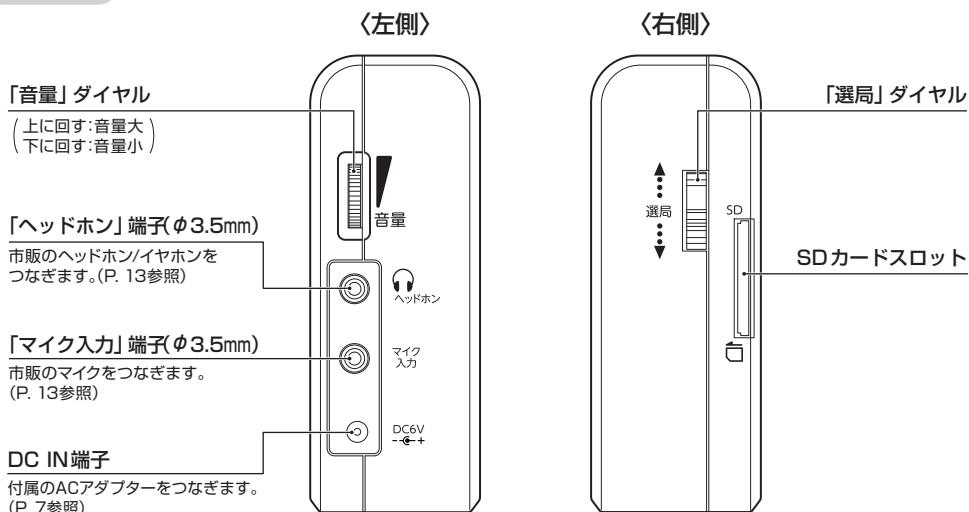
- お客様が録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本機の不具合により録音や再生できなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
いかなる場合においても当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 本機はすべてのSDカードに記録されている音楽ファイルの再生を保証するものではありません。

各部のなまえ

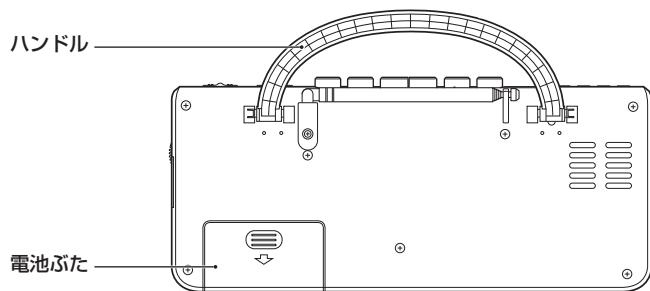
正面



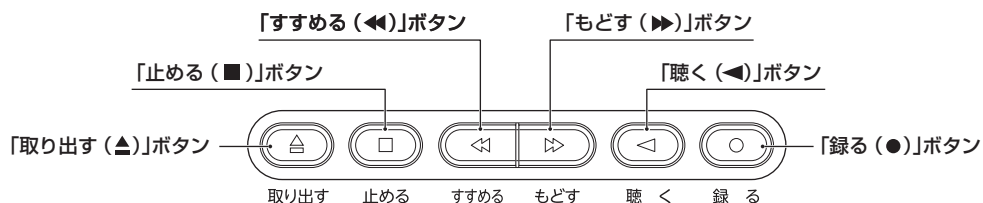
側面



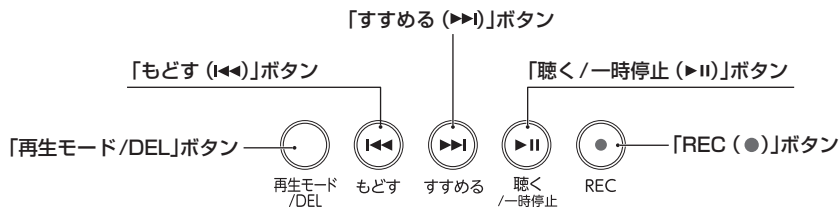
背面



テープ操作部



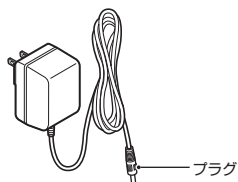
SDカード操作部



付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

- ACアダプター
(型番: SAD-9024)



- 取扱説明書
(本書: 保証書付)



電源について

家庭用電源で使うには

※家庭用電源で使用するときは、本体から乾電池を取り出してください。

1. ACアダプターのプラグを本体のDC IN端子へ差し込む。

2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。

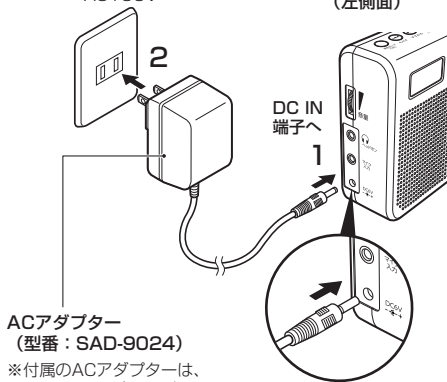
- 「ファンクション」スイッチが[テープ図]になっていることを確認してください。

ご注意

- ACアダプターを抜き差しするときは、「ファンクション」スイッチを[テープ図]にしてから行ってください。
- ACアダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- ACアダプターのコードの上に重いものをのせないでください。
コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。
- ACアダプターのプラグを本体に差し込むときは、操作部を触らないでください。
電源を入れた後、正しく動作しないことがあります。

家庭用電源コンセント
AC100V

(左側面)



ACアダプター
(型番: SAD-9024)

※付属のACアダプターは、SDD-1250専用です。
他の製品には使用しないでください。
※使用中熱くなることがありますが、異常ではありません。

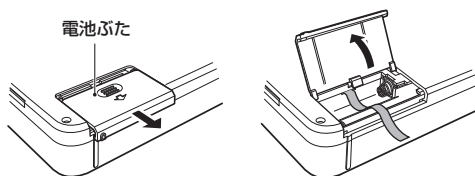
乾電池で使うには

※乾電池で使用するときは、本体からACアダプターを取り外してください。

ACアダプターが差し込まれていると乾電池で使用できません。

1. 電池ぶたを開ける。

(背面)



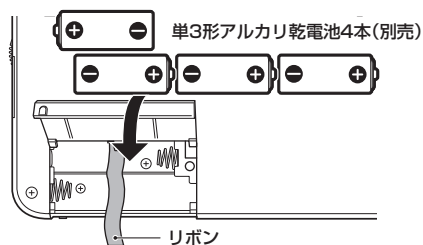
①スライドする

②開ける

※電池ぶたは取り外せません。

2. 単3形アルカリ乾電池4本(別売)を下図のように入れ、電池ぶたを閉める。

- リボンの上から入れてください。



ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいってください。
長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

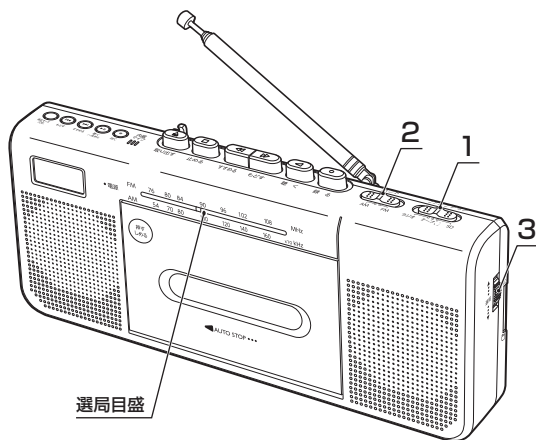
乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、テープやSDカードが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。

このようなときは、新しい乾電池と交換してください。
※乾電池を取り出すときは、リボンを引っ張ってください。

ラジオを聴く

1. 「ファンクション」スイッチを
[ラジオ]にする。
• 「電源」ランプが点灯します。
2. 「バンド」スイッチで[AM][FM]のい
ずれかを選ぶ。
3. 「選局」ダイヤルで聴きたい局を選ぶ。
• 選局目盛を目安に選局してください。



音量を調節する 「音量」ダイヤルを回す。

ラジオを切る

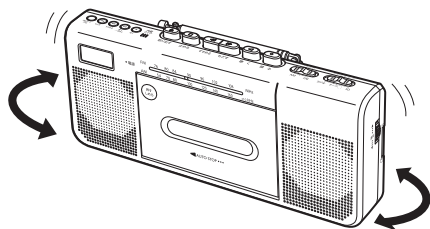
「ファンクション」スイッチを
[テープ]にする。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

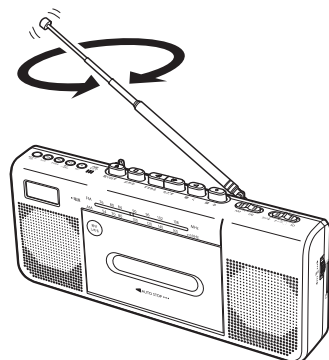
AM放送の場合

本体を動かし、最も良く聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体収納)



FM放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、最も良く聴こえる方向に向けてください。



テープを聴く

※ノーマルテープ (TYPE1) をお使いください。(P. 4 参照) ※90分を超えるテープの使用はおやめください。

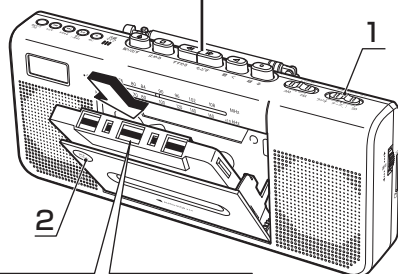
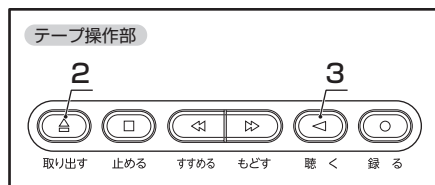
1. 「ファンクション」スイッチを[テープ 図]にする。

2. テープ操作部の「取り出す(▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。

- カセットテープをカセットホルダーにそって図のように正しく入れてください。
- 「押ししめる」マークを押してカセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

3. テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンを押す。

- 「電源」ランプが点灯し、演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。



- テープが見える方を上にする。
- 聴きたい面を手前にする。

音量を調節する	「音量」ダイヤルを回す。	早送り・早戻しする	テープ操作部の「すすめる(◀◀)」ボタンまたは「もどす(▶▶)」ボタンを押す。 ● 演奏に戻るにはテープ操作部の「止める(■)」ボタンを押してから、「聴く(◀)」ボタンを押す。
演奏を止める	テープ操作部の「止める(■)」ボタンを押す。		ご注意 ● テープ操作部の「すすめる(◀◀)」ボタンまたは「もどす(▶▶)」ボタンが押されているときに「聴く(◀)」ボタンを押さないでください。必ず「止める(■)」ボタンを押してから「聴く(◀)」ボタンを押してください。 ● テープ操作部の「すすめる(◀◀)」ボタンまたは「もどす(▶▶)」ボタンでテープが最後まで巻き取られたら、「止める(■)」ボタンを押してください。

オートストップ機能について

再生状態のときテープが最後まで巻き取られるとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンが自動的に停止し、電源が切れるようになっています。

SDカードのファイルを聴く

※使用可能なSDカードについては、P. 4「SDカードについて」をご参照ください。

再生できるファイルについて

- 本機で再生できるのはMP3ファイルのみです。WAVファイルやAACファイルなどは再生できません。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- MP3ファイルのタグ情報※には対応していません。

※：タイトル・アーティスト名・アルバム名などファイルの曲情報

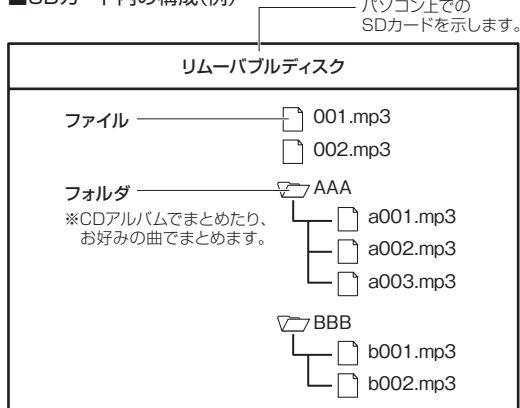
再生の準備をする

右図を参照し、お手持ちのパソコンなどでSDカードにMP3ファイルを転送してください。

- あらかじめ音源をパソコンなどでMP3ファイルに変換してください。
変換方法は、お手持ちのパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
- SDカードへのMP3ファイルの転送方法は、お手持ちのパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
- SDカード内にMP3ファイルを直接転送した場合、本機はSDカード自体をひとつのフォルダとして認識します。

※右図のファイル名/フォルダ名は、説明のため便宜上につけたものです。ファイル名/フォルダ名を変更する必要はありません。

■SDカード内の構成(例)



再生の順序について

下図のようにSDカードにMP3ファイルが書き込まれた順に再生します。
ファイルとフォルダが混在する場合は、直接保存されたファイルを優先して再生します。

(例)	SDカード内	作成日時	再生順序
	ファイル — 001.mp3	2018/09/01 12:00	①
	002.mp3	2018/09/01 12:30	②
	フォルダ — AAA	2016/12/01 12:00	
	— a001.mp3	2016/12/01 12:00	③
	— a002.mp3	2016/12/01 12:30	④
	— a003.mp3	2016/12/01 13:00	⑤
	— BBB	2017/03/01 12:00	
	— b001.mp3	2017/03/01 12:00	⑥
	— b002.mp3	2017/03/01 12:30	⑦

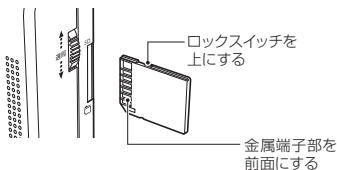
SDカードのファイルを聴く

※使用可能なSDカードについては、P. 4「SDカードについて」をご参照ください。

再生する

1. 「ファンクション」スイッチを[テープ]にする。

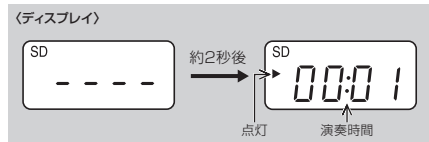
2. SDカードをSDカードスロットにまっすぐ差し込む。



SDカードを取り出すときは
SDカードをまっすぐ引き抜きます。

3. 「ファンクション」スイッチを[SD]にする。

- 「電源」ランプが点灯し、自動的に演奏が始まります。



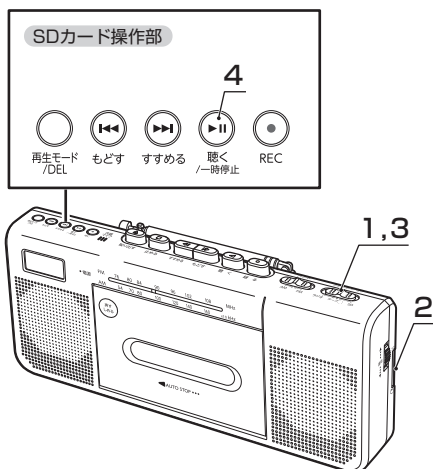
4. 本機で録音したMP3ファイルを聴く場合は、SDカード操作部の「聴く／一時停止(▶||)」ボタンを長押しする。

- 自動的に演奏が始まります。



ご注意

- SDカードによっては、読み込みに時間がかかる場合や、本機で正常に再生できない場合があります。
- 本機からSDカードを取り出すときは、「ファンクション」スイッチを[テープ]にし、数秒置いてから行ってください。
- SDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。
データ消失や故障の原因となります。



- パソコンなどから転送したファイルの再生に戻るには、再度SDカード操作部の「聴く／一時停止(▶||)」ボタンを長押しします。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。

音量を調節する	「音量」ダイヤルを回す。	曲の頭を探す (スキップ)	演奏中 SDカード操作部の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンを押す。 ●押し続けることで、早送り・早戻しができます。
演奏を止める	「ファンクション」スイッチを[テープ]にする。		一時停止中 SDカード操作部の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、「聴く／一時停止(▶)」ボタンを押す。
一時停止する	SDカード操作部の「聴く／一時停止(▶)」ボタンを押す。 ●演奏に戻るにはもう一度押す。		

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「NO SD」「NULL」が表示される場合、以下の項目を確認してください。

- SDカードが正しくセットされていますか？
- SDカードの向きを間違えていませんか？
- SDカードが汚れたり、傷ついていませんか？
- 使用できないSDカードを挿入していませんか？(P. 4参照)
- SDカード内にMP3ファイルが保存されていますか？

ご注意

- 本機で使用可能なSDカードのファイルシステムは、FAT16、FAT32、exFATです。他の形式でフォーマットされたSDカードは再生できません。
- 本機はすべてのSDカードに記録されている音楽ファイルの再生を保証するものではありません。

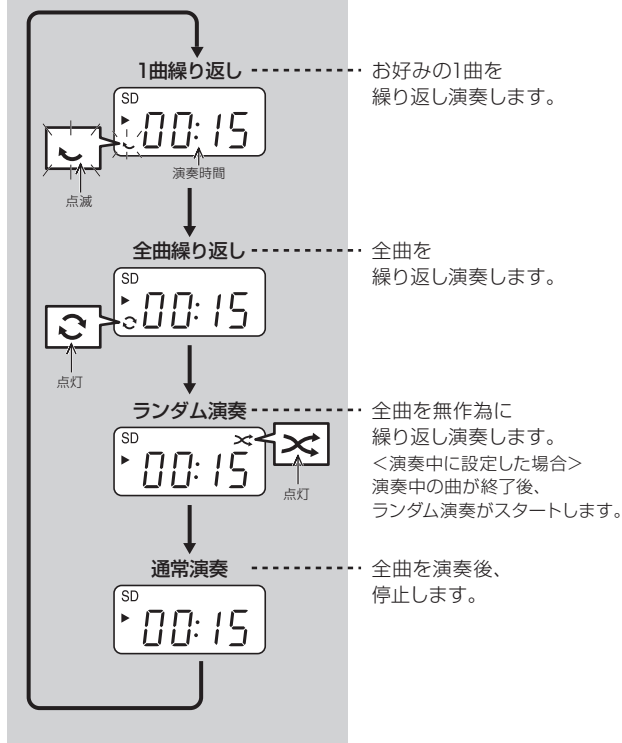
リピート演奏/ランダム演奏

演奏中／一時停止中に

「再生モード/DEL」ボタンで再生モードを選ぶ。

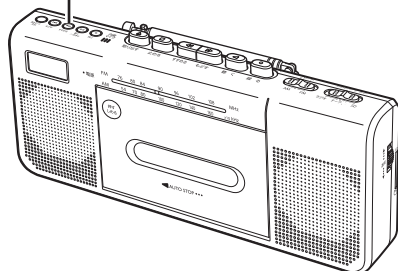
- 押すごとに設定が変わります。

〈ディスプレイ〉



SDカード操作部

「再生モード/DEL」ボタン

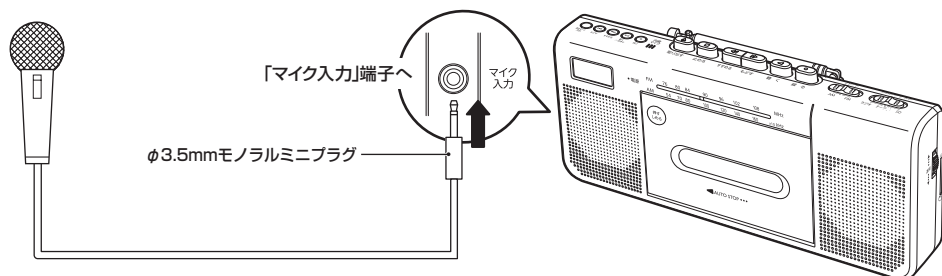


市販のマイクを接続する

■市販のマイクを本機につないで、マイクの音声を録音することができます。(P. 14、P. 18参照)

※マイクの音声はスピーカーから出ません。

※市販のコンデンサーマイクの使用を推奨します。



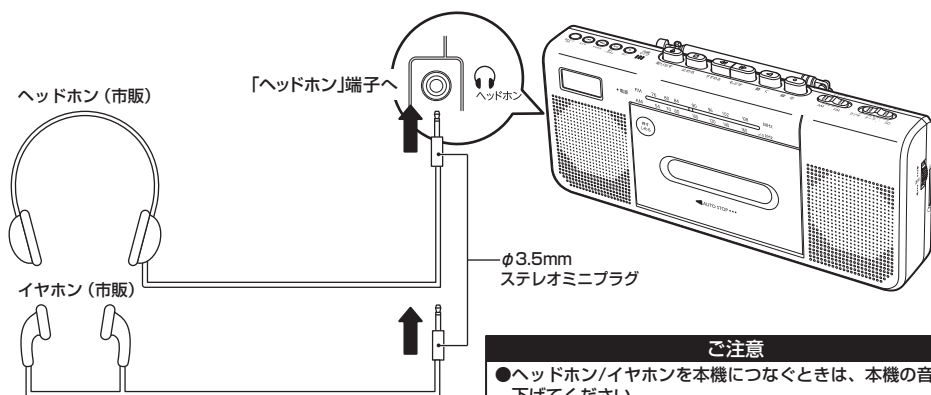
ご注意

- マイクを接続すると、内蔵マイクはOFFになります。
- マイクを使用しない時は、「マイク入力」端子からマイクを取り外してください。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンを本機につないで、音声を聴くことができます。

※ヘッドホン/イヤホンをつなぐと、スピーカーから音が出なくなります。



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

テープに録音する

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断では使用できません。

※ノーマルテープ (TYPE1) をお使いください。(P. 4 参照) ※90分を超えるテープの使用はおやめください。

ご注意

テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押すとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。テープが入っていないときや、カセットテープの消去防止用のツメが折れているとき、「録る(●)」ボタンは押し込められません。無理に押さないでください。

録音済みのテープの誤消去防止について

カセットテープ背面にあるツメをドライバーなどで根本から折っておくと、録音操作ができなくなります。

接着テープなどで穴をふさぐと再び録音することができます。

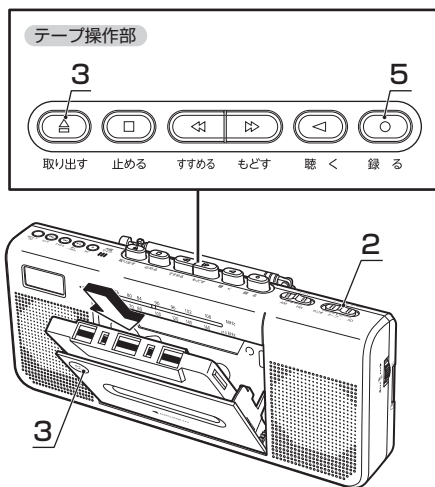


オートストップ機能について

テープが最後まで巻き取られるとテープ操作部の「録る(●)」ボタンと「聴く(◀)」ボタンが自動的に停止し、電源が切れるようになっています。

マイクまたは内蔵マイクから録音する

1. マイクから録音する場合は、「マイク入力」端子にマイクを接続する。(P. 13 参照)
2. 「ファンクション」スイッチを[テープ]にする。
3. テープ操作部の「取り出す(▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
 - 「押ししめる」マークを押してカセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
4. マイクから録音する場合は、マイクにスイッチがあればスイッチを入れる。
5. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。
 - 「電源」ランプが点灯し、録音が始まります。
 - テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
 - 録音中の音声スピーカーから出ます。



録音を止める

テープ操作部の「止める(■)」ボタンを押す。

録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

ご注意

- マイクを接続すると、内蔵マイクはOFFになります。
- マイクを使用しない時は、「マイク入力」端子からマイクを取り外してください。
- 内蔵マイクから録音するときは、内蔵マイクに近づいて録音してください。内蔵マイクから離れ過ぎると、うまく録音できない場合があります。

テープに録音する

※ノーマルテープ (TYPE1) をお使いください。(P. 4 参照) ※90分を超えるテープの使用はおやめください。

ラジオから録音する

ご注意

●ラジオを録音する際は、電波の届きやすいところで行ってください。

1. 「ファンクション」スイッチを[ラジオ]にする。

- 「電源」ランプが点灯します。

2. 「バンド」スイッチで[AM] [FM]のいずれかを選ぶ。

3. 「選局」ダイヤルで録音したい局を選ぶ。

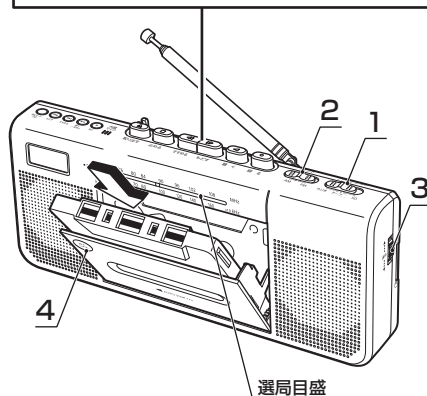
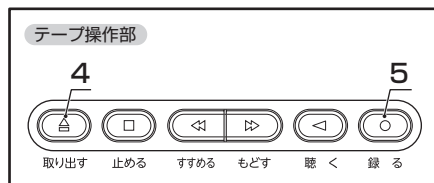
- 選局目盛を目安に選局してください。

4. テープ操作部の「取り出す(▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。

- 「押ししめる」マークを押してカセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

5. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。

- 録音が始まります。
- テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。



録音を止める

テープ操作部の
「止める(■)」ボタンを押す。

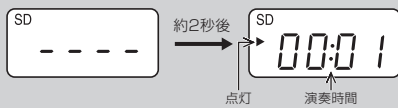
録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

SDカードから録音する

1. 「ファンクション」スイッチを[テープ Ⅲ]にする。
2. SDカードをSDカードスロットに差し込む。
(P. 11参照)
3. 「ファンクション」スイッチを[SD]にする。
 - 「電源」ランプが点灯し、自動的に演奏が始まります。

〈ディスプレイ〉



4. SDカード操作部の「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。
 - 演奏が一時停止します。

〈ディスプレイ〉



5. SDカード操作部の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンで録音したい曲を選ぶ。

〈ディスプレイ〉



6. テープ操作部の「取り出す(▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
 - 「押す しめる」マークを押してカセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

7. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押し、SDカード操作部の「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。
 - SDカードが再生され、録音が始まります。
 - テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。

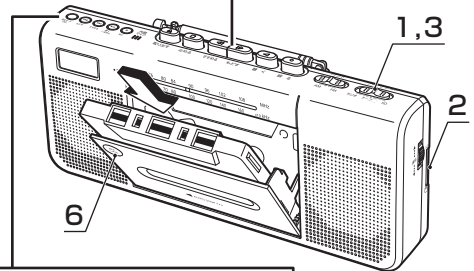
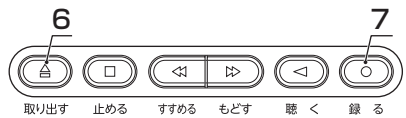
〈ディスプレイ〉



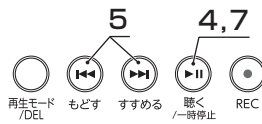
ご注意

- SDカードによっては、読み込みに時間がかかる場合や、本機で正常に再生できない場合があります。
- 本機からSDカードを取り出すときは、「ファンクション」スイッチを[テープ Ⅲ]にし、数秒置いてから行ってください。
- SDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。
データ消失や故障の原因となります。

テープ操作部



SDカード操作部



録音を止める

テープ操作部の「止める(■)」ボタンを押す

録音レベルについて

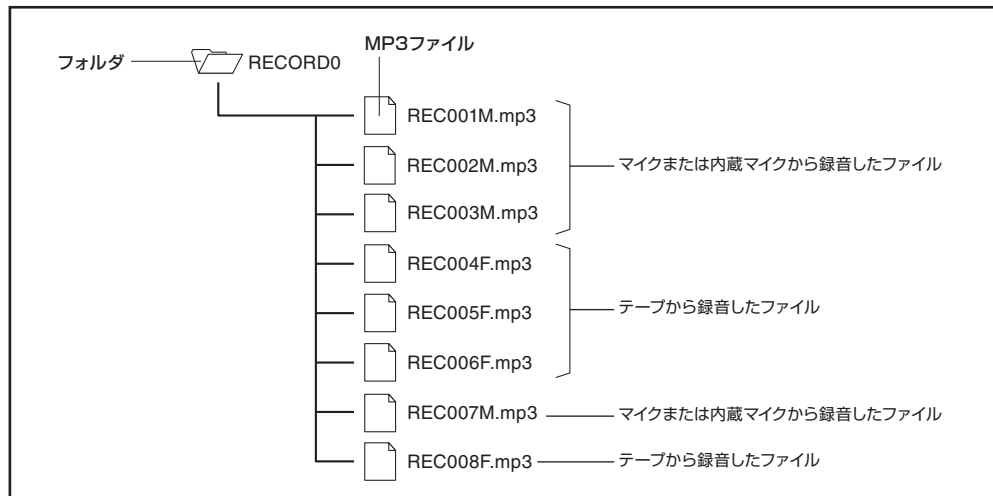
録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

SDカードに録音する

※使用可能なSDカードをご確認ください。(P. 4参照)

録音データについて

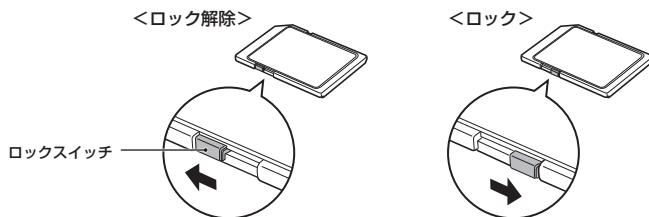
- 本機で録音したデータは、自動的にビットレート128kbpsのMP3フォーマットとして保存されます。
- 録音したデータは、自動的に下図のようにファイル名/フォルダ名がつけられます。
 - 録音した順に「REC001、002、003…」と001番から始まる3桁の連番で保存されます。
 - マイクまたは内蔵マイクから録音した場合は、ファイル名の末尾に「M」がつけられます。
 - テープから録音した場合は、ファイル名の末尾に「F」がつけられます。



- 本機で録音したMP3ファイルの再生順序は録音順になります。
※ファイルを削除したり、パソコンなどでファイル名の変更やファイルのコピーなどをすると、録音順に再生できないことがあります。
- SDカードの容量がいっぱいになると、自動的に録音が止まります。不要なデータを削除してから録音してください。
※本機にはパソコンなどから転送したSDカード内のファイルを削除する機能はありません。
お手持ちのパソコンなどで削除してください。削除方法についてはお手持ちのパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
- 本機ではラジオをSDカードに録音することはできません。

SDカードのロックについて

SDカードには書き込んだデータの誤消去防止のためのロックスイッチが付いています。ロックスイッチがロック側に設定されていると録音できません。録音するときはあらかじめロックを解除してください。

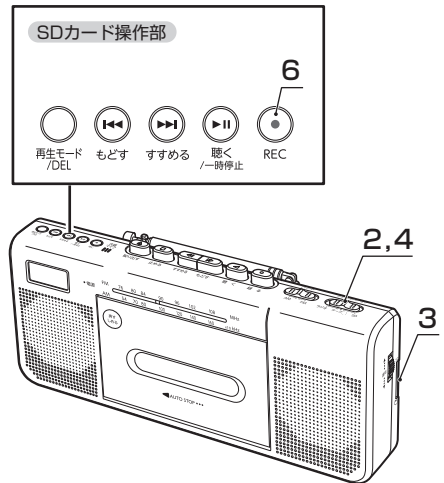


マイクまたは内蔵マイクから録音する

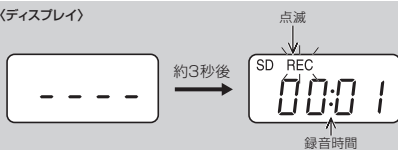
1. マイクから録音する場合は、「マイク入力」端子にマイクを接続する。(P. 13参照)
2. 「ファンクション」スイッチを[テープ]にする。
3. SDカードをSDカードスロットに差し込む。(P. 11参照)
4. 「ファンクション」スイッチを[SD]にする。
 - 「電源」ランプが点灯します。
 - SDカード内に再生可能なファイルが存在する場合は、自動的に演奏が始まります。
5. マイクから録音する場合は、マイクにスイッチがあればスイッチを入れる。
6. SDカード操作部の「REC(●)」ボタンを長押しする。
 - 約3秒経過後に録音が始まります。
 - 録音中の音声スピーカーから出ます。

ご注意

- 本機からSDカードを取り出すときは、「ファンクション」スイッチを[テープ]にし、数秒置いてから行ってください。
- SDカードに録音中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。
データ消失や故障の原因となります。
- マイクを接続すると、内蔵マイクはOFFになります。
- マイクを使用しない時は、「マイク入力」端子からマイクを取り外してください。
- 内蔵マイクから録音するときは、内蔵マイクに近づいて録音してください。内蔵マイクから離れ過ぎると、うまく録音できない場合があります。



〈ディスプレイ〉



録音を止める

SDカード操作部の「REC(●)」ボタンを押す。

録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。
録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

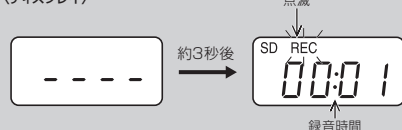
SDカードに録音する

※使用可能なSDカードをご確認ください。(P. 4参照)

テープから録音する

1. 「ファンクション」スイッチを[テープ切]にする。
2. SDカードをSDカードスロットに差し込む。
(P. 11参照)
3. テープ操作部の「取り出す(▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れてカセットホルダーを閉める。
 - 「押す しめる」マークを押してカセットホルダーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
4. テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンを押す。
 - 「電源」ランプが点灯し、演奏が始まります。
5. テープ操作部の「すすめる(◀◀)」ボタンまたは「もどす(▶▶)」ボタンで録音したい曲を選び「止める(■)」ボタンを押す。
6. SDカード操作部の「REC(●)」ボタンを長押しし、テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンを押す。
 - 約3秒経過後に録音が始まります。

〈ディスプレイ〉

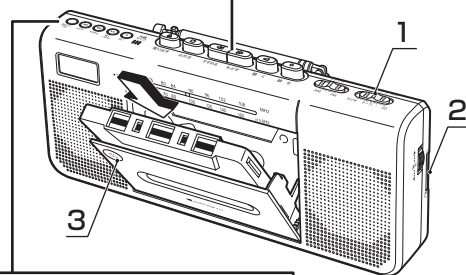
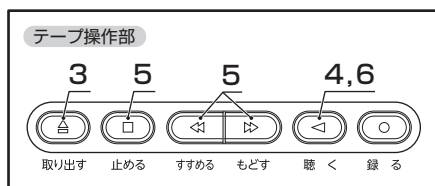


録音を止める

テープ操作部の「止める(■)」ボタンを押す。

ご注意

- 本機からSDカードを取り出すときは、「ファンクション」スイッチを[テープ切]にし、数秒置いてから行ってください。
- SDカードに録音中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。
データ消失や故障の原因となります。



SDカード操作部



録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。
録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

本機で録音した曲(MP3ファイル)を削除する

※本機にはパソコンなどから転送したSDカード内のファイルを削除する機能はありません。

お手持ちのパソコンなどで削除してください。削除方法についてはお手持ちのパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。

1. 「ファンクション」スイッチを[テープ $\square$]にする。
2. SDカードをSDカードスロットに差し込む。
(P. 11参照)
3. 「ファンクション」スイッチを[SD]にする。
 - 「電源」ランプが点灯します。
 - SDカード内に再生可能なファイルが存在する場合は、自動的に演奏が始まります。
4. SDカード操作部の「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを長押しする。

〈ディスプレイ〉



5. SDカード操作部の「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンで削除したい曲を選ぶ。
6. SDカード操作部の「再生モード/DEL」ボタンを長押しし、「すすめる(▶▶)」ボタンまたは「もどす(◀◀)」ボタンで、選択中の1曲だけ削除するか、フォルダ内の全曲を削除するか選ぶ。

〈ディスプレイ〉



7. SDカード操作部の「再生モード/DEL」ボタンを長押しする。
 - 曲が削除されます。

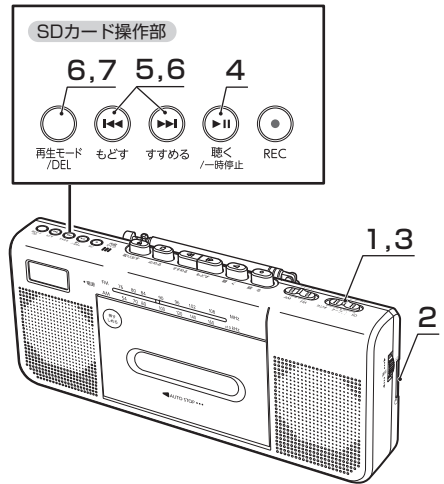
〈ディスプレイ〉



※手順6、手順7の各ボタンは、約5秒以内に操作しないと元の状態に戻ります。

ご注意

- 本機からSDカードを取り出すときは、「ファンクション」スイッチを[テープ $\square$]にし、数秒置いてから行ってください。
- SDカード内のMP3ファイルを削除中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。
データ消失や故障の原因となります。

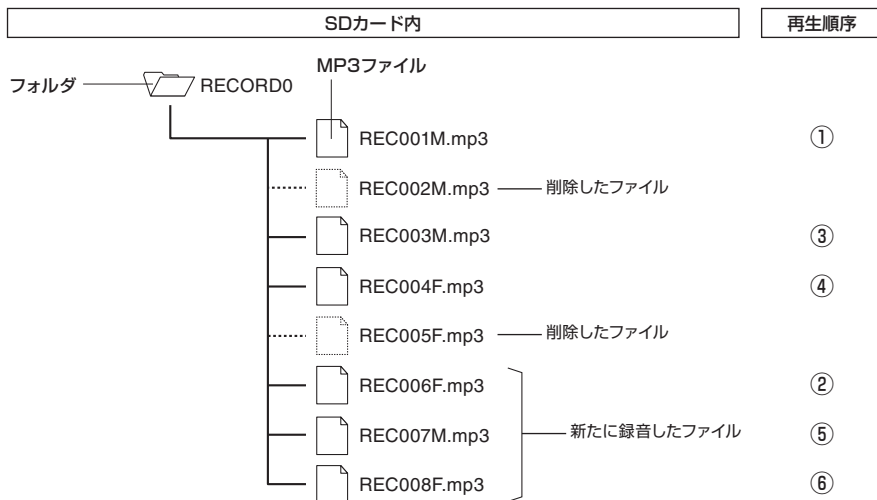


本機で録音/削除したファイルの再生の順序について

本機で録音したファイルは、録音順に再生します。

ただし、本機で録音したファイルを削除した後に録音すると、新たに録音したファイルがその位置に入り、再生の順番が変わります。(下図参照)

(例) ファイル番号「REC002M.mp3」、「REC005F.mp3」を削除した後、3つのファイルを新たに録音した場合



※上図のファイル名末尾の「M」や「F」は録音元により変わります。(P. 17参照)

お手入れのしかた

※必ず「ファンクション」スイッチを[テープ Ⅲ]にして、ACアダプターをコンセントから抜いてから行ってください。

本体のお手入れ

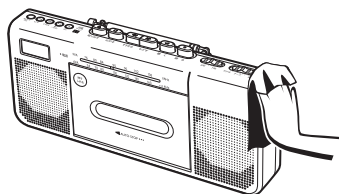
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。その後、から拭きしてください。

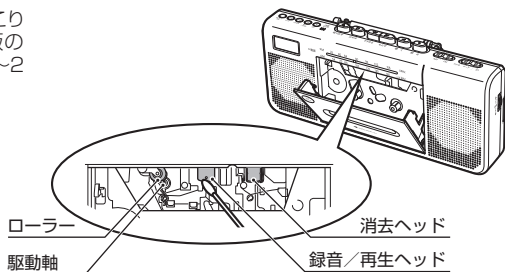
ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



カセットデッキのお手入れ

カセットデッキのヘッドやローラー、駆動軸にごみやほこりなどが付着すると音質劣化や消去不良を招きます。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、月に1~2回掃除してください。



仕様

受信周波数	FM: 76~108MHz AM: 522~1629kHz	電源	2電源方式 ●AC100V 50/60Hz(付属ACアダプター使用時) ●DC6V 単3形アルカリ乾電池×4本(別売)
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時: 約27時間 テープ再生時: 約20時間 MP3ファイル再生時: 約29時間
トラック方式	ステレオ	消費電力	5.4W
スピーカー	5.7cm(8Ω)×2個	最大外形寸法	(ハンドルを立てた時) 約240(幅)×45(奥行)×140(高さ)mm (ハンドル収納時) 約240(幅)×45(奥行)×108(高さ)mm
出力端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)×1	質量	約515g(乾電池含まず)
入力端子	マイク入力端子(φ3.5mm)×1	付属品	ACアダプター(型番: SAD-9024)、 取扱説明書(本書: 保証書付)
実用最大出力	550mW+550mW		

●ACアダプター (型番: SAD-9024)

入 力	AC100V 50/60Hz 12VA	コード長	約1.8m
出 力	DC6V 700mA	プラグ形状	Φ3.5mm

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

※電池持続時間は、乾電池の種類や使用状況(音量等)、環境によって異なることがあります。

故障かな？と思われたときは

症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	乾電池は正しい方向に入っていますか？	乾電池の＋－を確かめてください。
	ACアダプターが抜けていませんか？	確実に差し込んでください。
音が出ない。	「ヘッドホン」端子にヘッドホンやイヤホンをつないでいませんか？	ヘッドホンやイヤホンを取り外してください。
カセットテープが入らない。	テープの向きは正しいですか？	テープを正しく入れてください。
「録る(●)」ボタンが押しこめない。	カセットの誤消去防止用ツメが折れていませんか？	ツメの折れていないカセットを使うか、接着テープなどで穴をふさいでください。
テープの回転ムラがある。	乾電池が古くなっていませんか？	新しい乾電池をご使用ください。
	テープがたるんでいませんか？	テープのたるみを直してからカセットテープを入れてください。
	巻きとりムラができていませんか？	テープを全部巻き直してみてください。
テープの再生音が悪い。	録音 / 再生ヘッドが汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布で定期的に掃除してください。(P. 22 参照)
テープの再生音が歪む。	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていますか？	ノーマルポジションテープを使用してください。
テープが巻きつく。	ローラーや駆動軸が汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布で定期的に掃除してください。(P. 22 参照)
	テープがたるんでいませんか？	テープのたるみを直してからカセットテープを入れてください。
テープが絡んだ。	カセットテープが古くありませんか？	無理な取り出しをせず、お買い上げの販売店か小泉成器株式会社「修理センター」に修理を依頼してください。
テープの前の録音が消えない。	消去ヘッドが汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布で定期的に掃除してください。(P. 22 参照)
	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていますか？	ノーマルポジションテープを使用してください。
ラジオに雑音が入る。	電波の届きやすいところに置いていますか？	設置場所を確認してください(P. 8 参照)
	テレビと同時に使用していませんか？	テレビから離してください。 またはテレビの電源を切ってください。

症 状	チェックポイント	処置のしかた
SDカード内の音楽ファイルを再生できない。	MP3ファイル以外のファイル形式で記録していませんか？	本機で再生可能なファイル形式をご確認ください。(P. 10 参照)
	FAT16、FAT32、exFAT 以外のファイルシステムのSDカードを使用していませんか？	本機で使用可能なSDカードのファイルシステムをご確認ください。(P. 4 参照)
	SDカードがSDカードスロットにしっかり差し込まれていますか？	しっかり差し込んでください。
	「ファンクション」スイッチが [ラジオ] または [テープ] になっていませんか？	「ファンクション」スイッチを [SD] にしてください。
本機で録音したファイルを再生できない。	SDカード操作部の「聴く/一時停止 (▶II)」ボタンを <u>長押し</u> してください。	
SDカード内の音楽ファイルを削除できない。	パソコンなどから転送した音楽ファイルを削除しようとしていませんか？	本機にはパソコンなどから転送したファイルを削除する機能はありません。お手持ちのパソコンなどで削除してください。
SDカードに録音できない。	SDカードのロックスイッチがロック側に設定されていませんか？	SDカードのロックスイッチを確認してください。(P. 17 参照)
	ラジオを録音しようとしていませんか？	本機ではラジオをSDカードに録音することはできません。ラジオを録音するときは、カセットテープをご使用ください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ステレオラジカセの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛 情 点 検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか？		ご使用 中 止
		このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。	

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督を行います。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご購入、ご購入品等**で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

ステレオラジカセ

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買
上げの販売店に修理をご依頼ください。

型 番	SDD-1250		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理 保証期間	対象部分 本	期間（お買い上げ日より） 1 年	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 TEL	
販売店	店 名 ・ 住 所 ・ 電 話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2018年10月現在(所在地、電話番号などについては変更
がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)